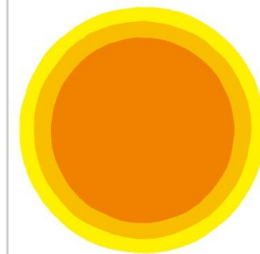


地域で働く若者を応援する ひなた創生のための奨学金返還支援事業

本県の概要

- 人口（R5年10月現在）：約104.0万人
- 生産年齢人口（R5年10月現在）：約55.7万人
- 5年間の人口減少率（人数）**（H29年10月～R4年9月）
：3.4%（約3.7万人） うち、**社会減0.9%（約1万人）**
- 経済活動別総生産額構成比
：一次産業4.6%、二次産業23.1%、三次産業71.7%
【特徴】全国平均と比較し、一次産業の占める割合が高い



日本の
ひなた
宮崎県

ひなた。それは漢字で書くと「日向」。
ふりかえれば、宮崎は神話の時代から
「日向」と称されてきた土地でした。

ひなたは、ゆったりした時間をつくる。
ひなたは、人柄をあたたくする。
ひなたは、太陽の恵みで豊かな食を生み
出す。
ひなたは、人々に希望と活力をもたらす。

いま、この国に必要なのは、
そんなひなたのチカラだと思う。

宮崎を、日本のひなたのような存在へ。

現状と課題

- 県内人口の**10代後半～20代は、毎年転出超過**となっている。
- 県内大学等卒業者の県内就職率は45.5%（R5年3月卒業）で、**半数以上が県外で就職している。**

県内の産業を担う人材の確保が年々困難に！

地域で働く若者を応援する ひなた創生のための奨学金返還支援事業

事業の 目的

県内企業に就職する若者等に対して奨学金返還に係る支援を行うことで、若者等の地元定着やUターンを促進し、県内の産業人材を確保する。

事業内容

事業費：約5億円（※R9年度認定分までの見込み額）

- 当該事業への参画を表明した県内企業と連携し、**奨学金の要返還額の2分の1の額（上限あり）**を若者等へ支給
- 当該事業の広報PR活動の実施

県内148社が参画！
(R6年2月現在)

これまで274名に
支援金を交付！
(H29年度～R5年度)

卒業した学校の区分	支給上限額
大学院・6年制大学	150万円
4年制大学・高専（専攻科）	100万円
短大・高専（本科）・ 専修学校専門課程	50万円
高校・高専（3年次修了）・ 専門学校高等課程	40万円

※支援額の4分の1は、就職先の企業が負担



地域で働く若者を応援する
ひなた創生のための奨学金返還支援事業

得られる
成果等

- ①若者が増えることにより、地域が活性化する！
- ②将来を担う人材が確保され、地域産業の持続的な発展につながる！
- ③奨学金の返還を行う若者の負担が軽減される！

寄附の
メリット

- 地方創生やSDGsへの貢献
- 社会貢献活動として県ホームページ等でPR
- 感謝状の贈呈

皆さまのあたたかな御支援が、
地域の中小企業やそこで働く若者にとって
大きな力になります。



日本のひなたに、
あなたのチカラを。

【連絡先】

宮崎県総合政策部産業政策課 産業人財担当 田中、門川 / TEL : 0985-26-7967 / メール : sangyoseisaku@pref.miyazaki.lg.jp